



個性ある美しい都市空間の形成

⇨ P083

(1) 文化を創造する舞台にふさわしい景観の形成

- 池袋駅及び駅周辺では、国内外の人々を迎え入れる池袋副都心の顔としての風格を備えた駅前空間を創出します。
- 池袋副都心軸である補助77号線（グリーン大通り）とアゼリア通り・補助78号線では、池袋副都心の魅力を高める街並みを形成します。
- 特に、補助77号線（グリーン大通り）沿道では、業務機能に加えて、商業、文化・交流機能などを誘導し、にぎわいを高めるとともに、四季の彩りが感じられる潤いに包まれた景観を形成します。
- 大規模な都市開発などの都市づくりにあたっては、周辺との調和を図りながら、都市の価値を高める景観を誘導します。

図表145
グリーン大通り



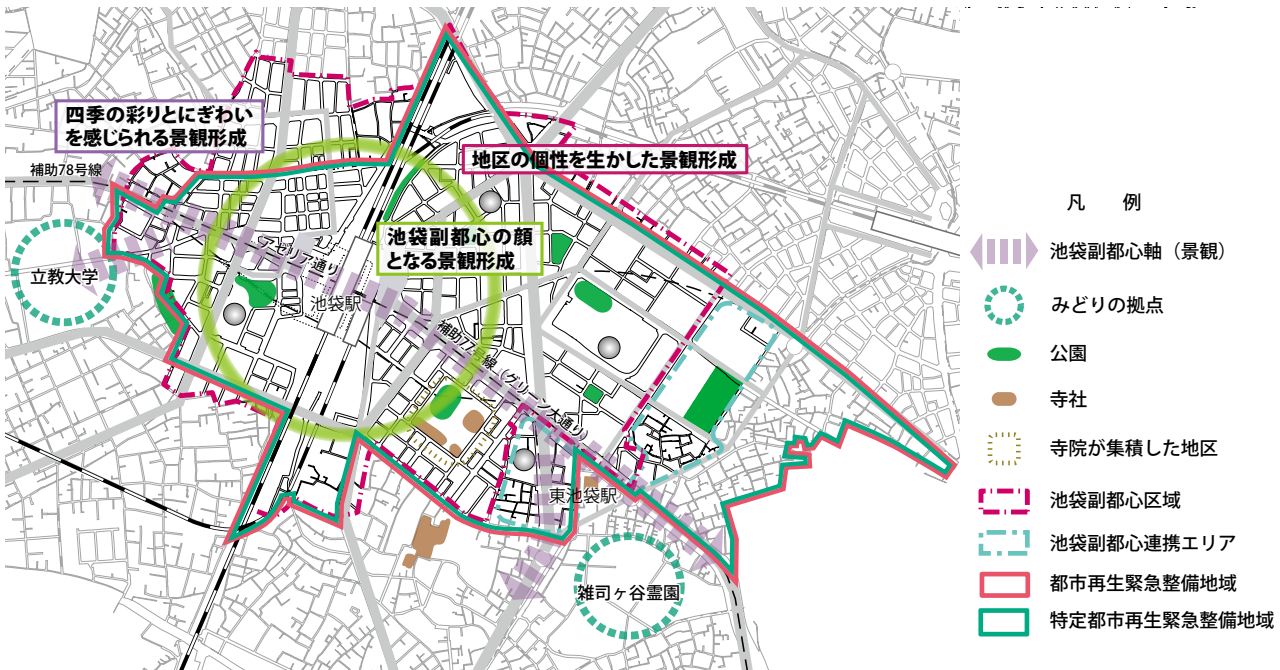
(2) 個性ある景観づくりの推進

- 池袋副都心を構成する地区の特性を生かした景観づくりを進め、多様な表情を楽しめるまちづくりに取り組みます。
- 南池袋公園周辺では、多くの寺院が立地する落ち着いた雰囲気を生かした景観の形成に取り組みます。
- 歩行者ネットワークが形成される道路の沿道では、建築物や工作物、屋外広告物の色彩やデザインの配慮などを通じて歩行者空間の魅力を高めていきます。

図表146
サンシャイン60通りのにぎわい



図表147 池袋副都心の再生方針図(景観)





文化を軸としたにぎわいと活力の強化

⇒ P087

(1) 国際アート・カルチャー都市を実現する舞台づくりの推進

- 池袋副都心では、国際アート・カルチャー都市構想を実現する『まち全体が舞台の誰もが主役の劇場都市』づくりに取り組み、東京の国際競争力を高める拠点的形成します。
- 4つの都市計画公園（池袋西口公園、中池袋公園、南池袋公園、としまみどりの防災公園）の特徴を生かし、周辺の民間施設との連携により、アート・カルチャーの活動拠点であり、まちの回遊の行動拠点ともなる、アート・カルチャー・ハブを育成していきます。
- 池袋駅、東池袋駅やアート・カルチャー・ハブをつなぐ歩行者動線では、都市開発等の機会を捉え、回遊性や都市機能を補完するアート・カルチャー・スポットを整備し、歩行者ネットワークを強化していきます。
- 東京芸術劇場、Hareza池袋の東京建物Brillia HALL、あうるすぽっと、豊島区本庁舎、サンシャインシティを「文化芸術拠点」として位置づけ、拠点間のネットワークを強化します。
- Hareza池袋は、長年にわたり豊島区旧本庁舎や公会堂が位置した重要なエリアであり、豊島区本庁舎周辺と連携したにぎわいを創出する文化芸術拠点を形成するとともに、商業、業務、交流、情報発信など複合的な都市機能をあわせて誘導します。
- 補助77号線（グリーン大通り）や公園、広場などのオープンスペースは、パフォーマンスやアー

図表148

GINZA RUNWAY－銀座中央通りを舞台にしたファッションショー



図表149 池袋乙女マップ



ト展示など文化芸術の舞台として活用するとともに、映画やドラマ、CMの撮影を積極的に受け入れ、都市全体で魅力を発信していきます。

- サンシャインシティ等の大規模集客施設の活用による文化・情報発信等の機能を強化します。
- それぞれ特徴ある池袋駅東西のサブカルチャーと池袋モンパルナスの文化を結び、新たな交流を生み出し、人々の回遊性を高めていきます。
- 個性ある拠点として池袋副都心の存在感を高めるとともに、同じようにサブカルチャーを核にした魅力づくりに取り組む都市や企業、NPOなどと連携し、国内外に向けた発信力を強化していきます。
- 「区と区内大学の連携・協働の包括協定」を締結した大学や数多くある専門学校など教育機関と連携して、大学と地域、学生と住民の交流を促進し、文化芸術活動の活性化や地域コミュニティの形成などに取り組みます。

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催とその先を見据えた都市づくりの展開

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催とその先を見据えて、国外から訪れる人々を惹きつける文化を生み出すとともに、安心してまちを楽しめるユニバーサルデザインの都市づくりを推進します。
- 最新の情報技術を活用して、多言語によるイベント情報や観光案内、まちのルールなどを発信するとともに、必要な情報にアクセスしやすい通信環境の整備に取り組みます。
- ボランティアガイドの活用や育成を支援し、国内外から訪れる人々をおもてなしの気持ちであたたかく迎え入れる都市をめざします。

(3) 東京の国際競争力を支える都市づくりの推進

- 都心や他の副都心などと連携しながら、国際的なビジネス活動の舞台となる都市機能の充実を

図表150 創造的な産業の創出を支える機能のイメージ



資料：Creative Lounge MOV

視点や雰囲気の異なるスペースの中に、電源・無線LAN、ライブラリー、リフレッシュツールなどを備えたラウンジ、部屋ごとにデザインの違うミーティングルーム、様々な業種や企業との交流イベントなどを開催

図り、東京の国際競争力を支えるビジネス拠点を形成します。

- 「豊島区産業振興指針」に基づき、歴史ある池袋モンパルナスやマンガ文化に加えて、新たな文化芸術の核となる映像や音楽、娯楽など創造的な産業を池袋副都心の再生を牽引する産業のひとつに位置づけ、新たな活力を生み出す都市づくりを推進します。
- 都市開発の機会を捉えて、インキュベーション⁸⁸施設やカンファレンス機能⁸⁹、コラボレーション機能などを誘導し、成長する企業活動を支える都市づくりを推進することにより、起業から成熟期までビジネス展開できる拠点を形成します。
- 国や東京都の特区制度⁹⁰などを活用し、都市づくりと規制緩和・優遇策を効果的に組み合わせた政策を展開し、産業支援に取り組みます。
- 国際会議やビジネスで訪れた外国人がアフターコンベンション⁹¹を楽しめるよう、芸術・文化、エンターテインメント、情報発信などの機能や質の高い滞在・宿泊施設の誘導、夜間のライトアップ、プロジェクションマッピングなどによる魅力的な景観の演出などに取り組みます。
- 公民が連携したエリア防災⁵⁴対策の推進や自立・分散型エネルギーシステム⁴⁹の導入を促進し、事業継続の信頼性と事業者の安全性を確保する都市づくりを進めます。
- エリアマネジメント³⁴組織による施設管理やイベント開催、地域のプロモーション活動などの取り組みを促進します。

(4) 観光創造都市づくりの推進

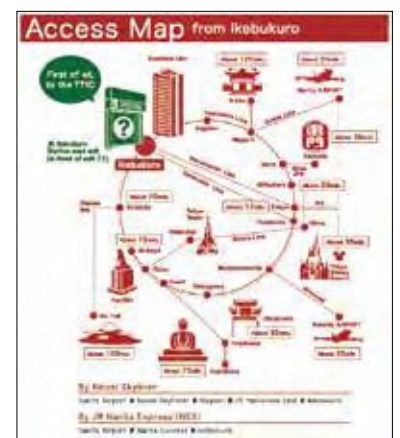
- 「豊島区観光振興プラン」による取り組みと連携し、観光創造都市づくりを支える都市基盤の整備を進めます。
- 劇場や映画館、商業施設などのネットワークを強化し、それぞれの個性を生かしながら、同じテーマ性を持った公演やイベントなどを開催することにより、都市全体が一体となって文化を感じられるまちづくりを検討します。

図表151
夜間イルミネーションのイメージ



画像提供：渋谷区

図表152
外国人を対象とした観光マップ
(origami map)



画像提供：一般社団法人豊島区観光協会

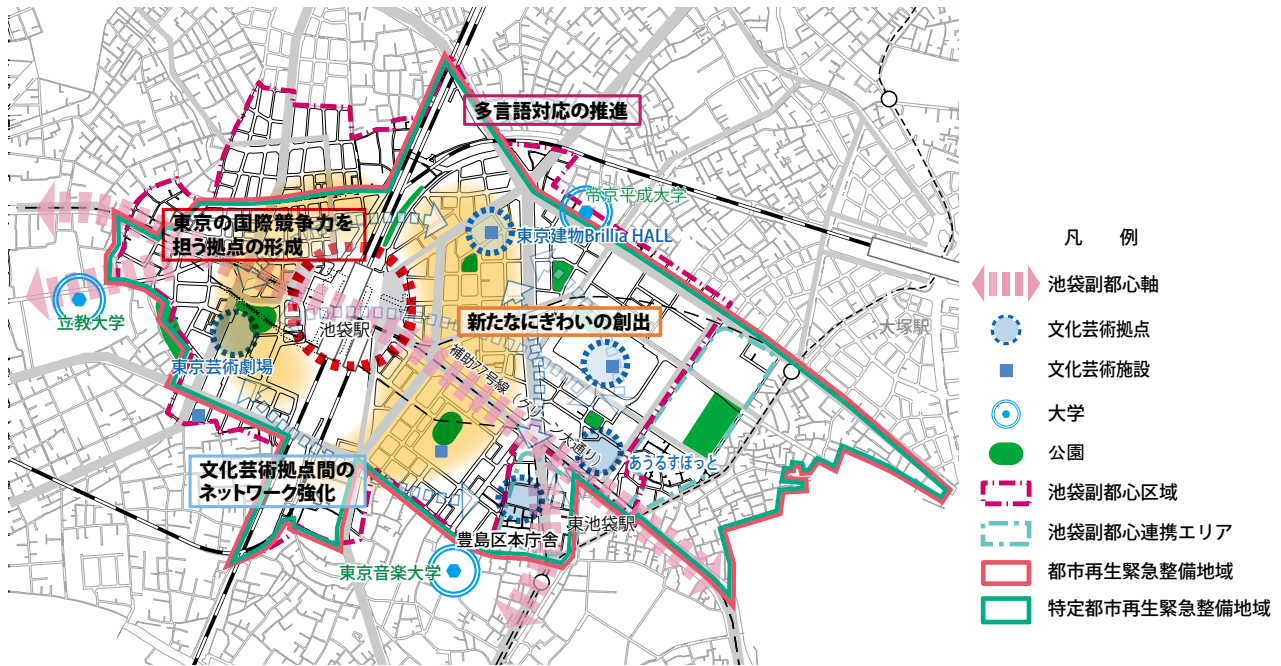
88 インキュベーション：産業の活性化や雇用の創出、新事業の創出などを目的にオフィスの提供や経営支援等を行い、創業を支援する機能

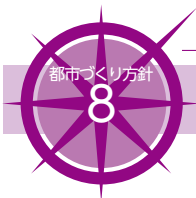
89 カンファレンス機能：会議や研究会、協議会、検討会等(カンファレンス)を円滑に行うための機能

90 特区制度：現在の実情に合わない国の規制について、地域を限定して改変し、地域の活性化を図るための制度

91 アフターコンベンション：展覧会やフォーラム、シンポジウム等(コンベンション)の後に行われる催し物や懇親会

図表153 池袋副都心の再生方針図(文化)





健康を支える快適な都市づくりの展開

⇒ P091



(1) 生活の質を高める都市づくりの推進

- 池袋副都心の核である池袋駅及び東池袋駅周辺では、医療、福祉、子育て、運動、スポーツなど健康を支える機能の集積を図ります。
- 都市骨格軸や池袋副都心の主要な施設間を結ぶ歩行者ネットワークでは、健康を意識して歩くことができる「ウェルネスロード（健康を育む道）」としての整備を検討します。
- 幹線道路では、産業、文化、福祉、健康、交通などの関係分野が連携して、健康を意識して歩ける案内表示や緑陰の中で休憩できる場所などを沿道空間の活用を含めて設置します。
- 造幣局東京支局移転後に整備される防災と文化、交流機能を備えた拠点を中心に、池袋副都心と大塚、雑司が谷を結ぶ、新たな人の流れを生み出します。

図表154 休憩できるベンチ
(ストリートファニチャー)



(2) ユニバーサルデザインによる都市づくりの推進

- 池袋駅、東池袋駅及び駅周辺では、鉄道や都電、バス事業者などの関係者と連携しながら、高齢者、障害者、子ども、妊娠している人、外国人などを含む誰もが安全・安心で快適に歩行できる空間を形成するため、ユニバーサルデザインによる都市づくりを推進します。
- 誰もが安心して外出できるよう、ハード面でのバリアフリー化とともに、一人ひとりが不便を感じている人を気遣い支える「心のバリアフリー」を進めます。

(3) 気軽に身体を動かせる都市空間の整備

- スポーツ施設の計画的な整備・改修に取り組むとともに、その周辺地域では道路の安全性の向上や案内サインの設置などを検討し、健康を育む拠点づくりを進めます。

(4) 子どもたちの成長と子育てを支える都市空間の創出

- 都市開発の機会を捉えて、子育てする人が育児と仕事を両立しやすい環境の形成に向け、子育て支援や女性の健康づくり機能の誘導、育児スペースの設置などを促進します。
- ハード整備とあわせて、子どもたちの良質な生育環境を保障するため、保育や幼児教育の場並びに地域子ども・子育て支援事業の充実に取り組みます。

図表155 大塚駅ビル内の認可保育園
大塚りとりぱんぷきんず



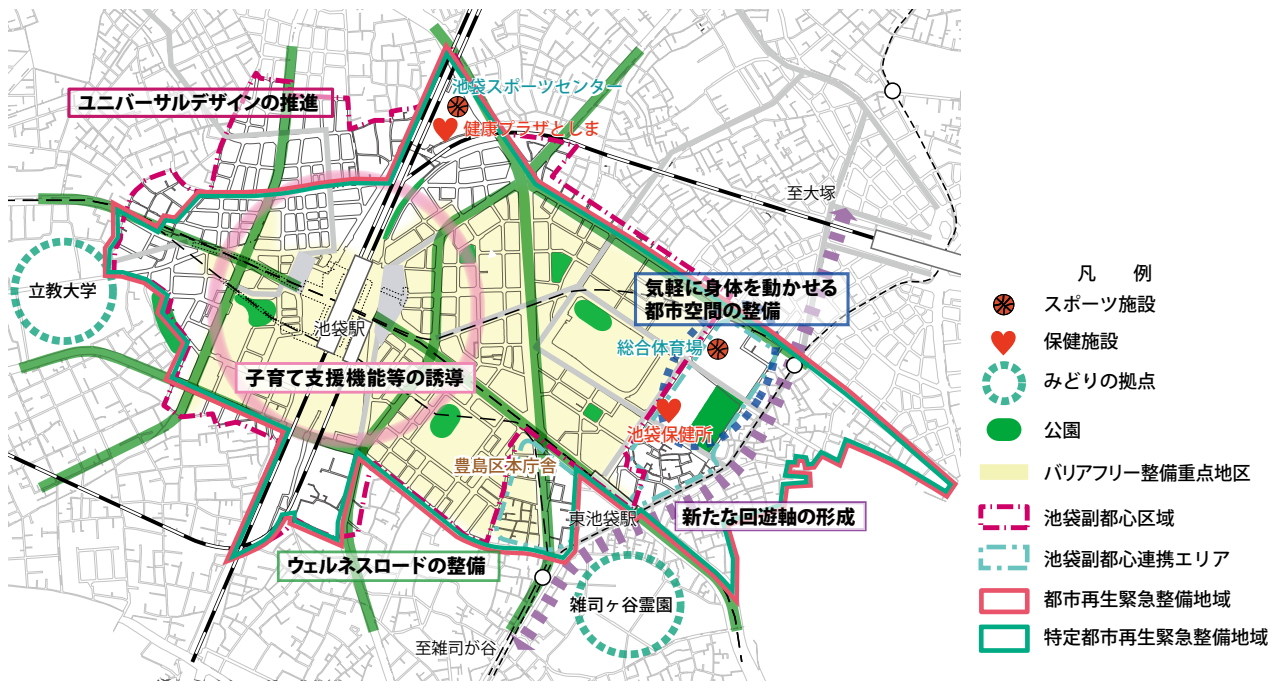
画像提供：社会福祉法人清香会

○商業施設などでの授乳やおむつ替えスペース等の整備促進、歩道の段差解消などに取り組み、妊娠している人やベビーカーにも配慮したまちづくりを推進します。

(5) 快適に過ごせる都市環境の形成

○都市計画道路の街路樹や沿道民有地の緑化などによる連続した緑陰空間の創出、道路の遮熱性舗装などにより、熱中症の要因の一つであるヒートアイランド現象の緩和に取り組みます。

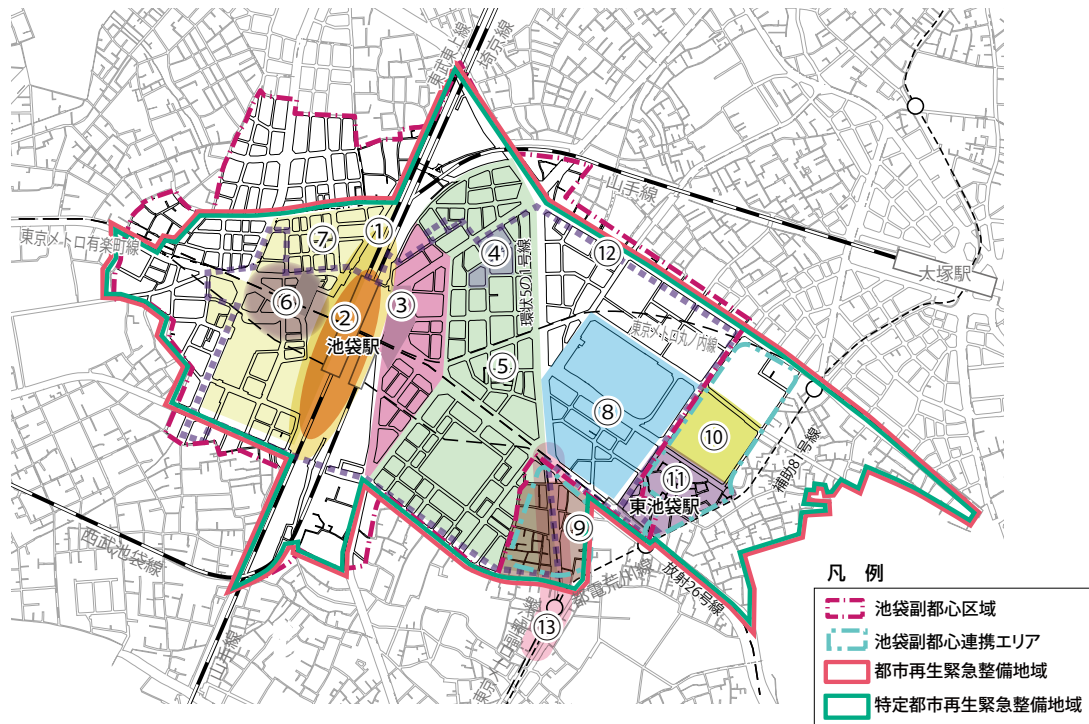
図表156 池袋副都心の再生方針図(健康)



第6 池袋副都心を再生へと導く都市整備プロジェクトの推進

東京の魅力を担う池袋副都心の再生を実現に導く、主要な都市整備プロジェクトの推進方針を示します。

図表157 池袋副都心を再生へと導く都市整備プロジェクト



プロジェクト ① 池袋駅の再生

- 池袋駅では、鉄道事業者等による駅施設の機能更新を促進するとともに、池袋副都心としての一体性と防災性を高めるため、既存地下通路のバリアフリー化やサインの統一などに取り組みます。
- 平成28(2016)年12月に策定した「池袋駅周辺地域都市再生安全確保計画⁸¹⁾」に基づき、東京都、区、事業者などの公民連携を強化し、帰宅困難者の滞留空間や避難経路の整備、各建築物での避難経路や一時滞在施設⁵³⁾、備蓄倉庫の確保などエリア防災⁵⁴⁾対策を推進します。

プロジェクト ② 「池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）」の整備推進

- 「池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）」を整備し、帰宅困難者の一時滞留や避難経路など災害対策に資する空間を確保するとともに、地下通路の整序化などによる安全性の向上に取り組みます。

- あわせて、池袋駅東西の歩行者空間の充実と回遊性の向上、鉄道の乗り換えの利便性を高め、快適な移動空間を形成します。
- 東西デッキに接続する駅施設、商業施設及びその周辺では、街区再編などを含む連鎖的な都市機能の更新を図ります。東西デッキ整備に合わせて、池袋駅の新たな全体像について関係者と検討し、東池袋駅周辺との連携を強化する歩行者ネットワークの形成をめざします。

プロジェクト

③

池袋駅東口駅前街区再編まちづくりの推進

- 池袋駅東口駅前には、老朽化した建築物の更新や街区再編を促進するとともに、人々が集う空間の創出、観光需要にも対応したバスやタクシー等の公共交通機関の施設配置の見直しを推進します。
- 地下通路出入口ではサンクンガーデン⁸²を整備し、地下空間と地上部との接続を強化することで、池袋副都心の玄関口としてふさわしく、訪れる人にとって分かりやすい駅とまちとの結節空間として再生します。

プロジェクト

④

庁舎跡地の整備

- 豊島区旧本庁舎と公会堂の敷地は、Hareza池袋として一体的な活用による土地の高度利用を図り、池袋副都心の再生を牽引し、新たなにぎわいを創出する文化芸術拠点の核となる東京建物Brillia HALLを整備します。あわせて、周辺の商業店舗等と連携し、文化の魅力を発信するまちづくりに取り組みます。
- 庁舎跡地の整備にあたっては、中池袋公園と連携したみどりを配置し、整備される施設全体で環境に配慮したエネルギーを導入します。
- 中池袋公園は、東京建物Brillia HALL及び新区民センターと連携し、交流機能とともに、帰宅困難者に対応した機能を整備します。

プロジェクト

⑤

庁舎跡地周辺まちづくりの推進

- Hareza池袋と南池袋公園を結ぶ区道沿道は、庁舎跡地から区民センターに面した区道を建替えに併せて拡幅します。さらに、歩行者空間の拡大とあわせて、道路空間と一体となったにぎわいやみどりの創出、個性ある快適な都市空間の形成、ユニバーサルデザインによるまちづくりを進め、人々の回遊性を高めます。
- 南池袋公園は、人々が憩う空間として整備するとともに、豊島区本庁舎の災害対策本部機能と連携して、一時的な退避空間や災害情報の伝達機能、救援物資の備蓄機能を整備します。
- 南池袋公園周辺は、寺院が多く立地する静寂な雰囲気を生かしながら、周辺区道や緑地帯を整備し、地区の個性を高めます。

- 補助77号線（グリーン大通り）は、歩道の再整備や道路空間の有効活用の検討、風格ある街並みの創出、ユニバーサルデザインによる快適な歩行者空間を形成し、池袋駅とHareza池袋、南池袋公園との連携を強化します。
- 平成30（2018）年4月に策定した「池袋地区駐車場整備計画⁸³」に基づき、フリンジ（集約）駐車場⁸⁴の整備や共同荷さばきスペースの確保、荷さばきルールの策定などを進め、常態化する路上駐車を解消し、歩行者が安全に回遊できる交通環境を創出します。また、令和2（2020）年3月に策定した「池袋地区駐車場地域ルール」を積極的に運用し、池袋駅周辺のまちづくりと連動しながら駐車施設整備の適正化を図り、歩行者優先のまちづくりを進めます。
- Hareza池袋周辺の低未利用地を積極的に活用し、新たなにぎわいや活力を創出するまちづくりに取り組みます。
- 「Hareza池袋エリアマネジメント協議会」などのエリアマネジメント³⁴組織と協働して、地権者や企業、開発事業者など民間活力の活用によるまちづくりを推進します。
- 東池袋一丁目地区では、池袋のまちの回遊性向上に資する歩行者空間の整備を進めるとともに、国際アート・カルチャー都市池袋の魅力を高める文化・芸術の発信機能等を整備します。

プロジェクト

⑥

池袋駅西口駅前街区再編まちづくりの推進

- 池袋駅周辺の拠点性を高めるため、地域のシンボルでもある東京芸術劇場や池袋西口公園を生かしながら、街区再編による大街区化²⁹を促進するとともに、都市開発諸制度³⁰等を積極的に活用し、民間による都市開発と公共施設整備を連動させた公民連携によるまちづくりを推進します。
- 池袋駅と駅前街区の接続を強化し、安全・安心で快適に過ごせる駅前空間の創出に取り組みます。
- 多世代や外国人など多様な人々が芸術・文化を中心に交流や情報発信できる都市空間の創出や機能を誘導し、新たな文化と産業を生み出すまちづくりをめざします。
- 駅前街区の再編にあたっては、周辺街区との接続や連続性に意識した街並みを形成し、西口地区全体の再生を牽引するまちづくりを誘導します。
- あわせて、訪れる人だけではなく、周辺住民の生活を支援する機能や施設を誘導し、利便性が高く快適な都市環境を形成します。

プロジェクト

⑦

池袋駅西口周辺まちづくりの推進

- 池袋駅西口駅前街区の再編と連携し、老朽化した建築物の更新や小規模街区の再編による土地の有効利用や防災性の向上、歩行者の安全性の確保などに取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。

- 池袋駅東西連絡通路（東西デッキ）に接続する商業施設及びその周辺などでは、民間による連鎖的な都市開発を誘導し、新たなにぎわいと快適な都市空間を創出します。

プロジェクト

⑧

東池袋駅周辺まちづくりの推進

- 池袋駅周辺と相互に連携し、池袋副都心を形成する東池袋駅周辺では、環状5の1号線沿道とサンシャインシティ周辺の低未利用地を有効に活用し、商業、業務、生活支援、居住などの機能を誘導するため、都市開発諸制度による再開発事業等を進めます。
- 再開発事業等の計画にあたっては、豊島区本庁舎やあうるすぽっと、サンシャインシティ、造幣局東京支局移転後に整備される市街地の文化・交流機能などと連携し、新たなにぎわいを創出するまちづくりに取り組みます。
- 東京メトロ副都心線の新駅設置に向けて、関係機関と連携して取り組みます。
- サンシャインシティの集客施設やオープンスペースを活用した一時滞在機能の整備を進め、造幣局東京支局移転後の跡地整備とも連動しながら東池袋駅周辺での防災性の向上を図ります。

プロジェクト

⑨

南池袋2丁目地区街区再編まちづくりの推進

- 東京都の「東京のしゃれた街並みづくり推進条例⁹²」による街区再編まちづくり制度を活用した共同建替え等を進め、池袋副都心に隣接した立地特性を生かした安全・安心で快適なまちづくりの実現をめざします。

プロジェクト

⑩

造幣局東京支局移転後の跡地整備

- 造幣局東京支局移転による大規模な土地利用転換にあわせて、池袋副都心と木造住宅密集地域に隣接する立地特性に配慮し、災害に強く、文化とにぎわいを創出する活力ある都市機能の誘導により市街地と防災公園⁵²を一体的に形成します。
- 区の防災活動の拠点となる防災公園と帰宅困難者の受け入れなど災害時利用を加味した市街地の整備により、区全体の防災機能の向上を図ります。
- 市街地部分は、池袋副都心と連携した文化・交流機能を誘導し、公園と一体となったにぎわい空間を形成します。
- 造幣局東京支局移転後の跡地整備にあわせて、大塚と池袋副都心、雑司が谷をつなぐ新たな人の流れと回遊性を生み出します。
- 補助81号線沿道まちづくり、東池袋4、5丁目での居住環境総合整備事業¹⁶及び不燃化特区による不燃化の促進の取り組みと連携し、池袋副都心の安全性を高めていきます。

92 東京のしゃれた街並みづくり推進条例：住民、事業者及びまちづくり団体の意欲と創意工夫を生かし、都市の再生を進め、東京の魅力の向上に資することを目的とした東京都の条例

○平成26（2014）年4月に国が策定した「首都直下地震対策計画」を踏まえ、造幣局東京支局移転後の跡地を活用した密集市街地の広域的解消を図る手法について、関係機関と連携しながら検討していきます。流入する通過交通⁸⁵が減少することに伴い、池袋駅東口では快適に回遊できる歩行者空間を確保します。

プロジェクト
⑪

造幣局南地区まちづくりの推進

- 造幣局南地区は、まちづくり協議会による検討を進め、造幣局東京支局移転後の跡地の防災機能を備えた公園の整備や都市開発にあわせて、木造住宅密集地域の解消による防災性と住環境の向上をめざします。
- 放射26号線と補助81号線が交差する付近は、池袋副都心に近接し、東池袋駅に隣接することから、グリーン大通りから放射26号線へと副都心のにぎわいを連続する土地の高度利用による市街地再開発事業等を推進します。事業にあたっては、東池袋駅とのユニバーサルデザインによる接続や建築物の低層部への商業業務機能の誘導、子育て支援など生活支援機能の導入、交差点部への広場空間の配置などを検討します。

プロジェクト
⑫

池袋駅周辺でのユニバーサルデザインの推進

- 池袋駅及び駅周辺では、「池袋駅地区バリアフリー基本構想」に基づき、バリアフリー化を進めます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催とその先を見据えて、多言語に対応した案内誘導システムの整備などユニバーサルデザインによるまちづくりを推進します。

プロジェクト
⑬

環状5の1号線の整備促進

- 環状5の1号線は、平成23（2011）年4月の都市計画変更を受け、都電荒川線学習院下停留場付近から東池袋交差点（放射26号線）までの区間を地上2車線（目白通り以北）、地下2車線として整備し、地上部の道路空間では、四季の彩りを感じられる積極的な緑化を進めるよう東京都へ働きかけます。
- 地下道路の整備を促進し、明治通りの迂回機能が確保されることによって、池袋駅東口駅前に流入する通過交通⁸⁵が減少することに伴い、池袋駅東口では快適に回遊できる歩行者空間を確保します。